



2024年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年3月12日

上場会社名 ジャパンM&Aソリューション株式会社 上場取引所 東
コード番号 9236 URL https://jpmas.jp
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 三橋透
問合せ先責任者（役職名） 管理管掌取締役（氏名） 河合寿士（TEL） 0364564123
四半期報告書提出予定日 2024年3月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年10月期第1四半期の業績（2023年11月1日～2024年1月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第1四半期	136	—	7	—	7	—	5	—
2023年10月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第1四半期	3.58	3.38
2023年10月期第1四半期	—	—

（注）当社は、2023年10月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年10月期第1四半期の数値及び2024年10月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第1四半期	768	702	91.5
2023年10月期	752	597	79.5

（参考）自己資本 2024年10月期第1四半期 702百万円 2023年10月期 597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年10月期	—	—	—	—	—
2024年10月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年10月期の業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	913	21.3	245	39.1	245	45.5	171	36.8	119.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期 1 Q	1,481,300株	2023年10月期	1,378,000株
② 期末自己株式数	2024年10月期 1 Q	一株	2023年10月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期 1 Q	1,439,313株	2023年10月期 1 Q	1,198,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について)

当社は、2024年3月12日に決算補足説明資料を当社ウェブサイトに掲載いたします。決算補足説明資料は、T D n e t 及び当社ウェブサイトで同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、コロナ禍からの経済正常化の動きにより、緩やかな回復基調となりました。その一方、輸入価格の高騰を起点とする物価上昇や人手不足の強まりなど、景気の下押し要因も根強く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

しかしながら、当社の事業ドメインである日本国内の中小企業によるM&A市場は、経営者の高齢化及び後継者不在企業の増加という実態と、M&Aによる事業承継を推進する行政の政策により拡大を続けております。このような事業環境下で、当社は1社でも多くの企業の事業承継を支援するべく、金融機関や会計事務所等の提携先との一層の関係強化として研修会や勉強会の実施に取組み、M&Aニーズの発掘を図りました。

その結果、当社においては、新規受託件数は順調に増加しております。当事業年度において需要の伸長に対応するべくM&Aアドバイザーは3名増員し29名（前年同期20名）になりました。また、当社の重要指標である当第1四半期累計期間の成約組数は13組（前年同期16組）になりました。

結果として、当第1四半期累計期間における売上高は136,436千円、営業利益は7,429千円、経常利益は7,429千円、四半期純利益は5,154千円となっております。

なお、当社は、M&Aアドバイザー事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載は省略しております。また、当社は前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末に比べ16,030千円増加し、688,628千円となりました。これは主として、現金及び預金が20,024千円、前払費用が4,704千円増加したものの、売掛金が8,464千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から大きな変動はなく79,385千円となりました。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ88,920千円減少し、65,518千円となりました。これは主として、買掛金が14,481千円、賞与引当金が5,716千円増加したものの、未払費用が39,678千円、未払法人税等が47,397千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ104,544千円増加し、702,495千円となりました。これは主として、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）及び新株予約権の行使に伴う新株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ49,694千円増加したものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の業績予想につきましては、2023年12月14日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,326	676,351
売掛金	9,306	841
前渡金	1,690	1,457
前払費用	5,125	9,830
その他	149	148
流動資産合計	672,598	688,628
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	12,404	12,404
減価償却累計額	△977	△1,203
建物附属設備（純額）	11,426	11,200
工具、器具及び備品	4,027	4,027
減価償却累計額	△3,843	△3,880
工具、器具及び備品（純額）	183	146
有形固定資産合計	11,609	11,347
投資その他の資産		
投資有価証券	500	500
破産更生債権等	110	110
繰延税金資産	17,067	17,067
敷金	40,601	40,457
その他	10,013	10,013
貸倒引当金	△110	△110
投資その他の資産合計	68,182	68,038
固定資産合計	79,792	79,385
資産合計	752,390	768,014

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,116	25,597
未払金	7,909	4,745
未払費用	53,800	14,121
未払法人税等	49,672	2,274
契約負債	4,342	2,970
預り金	3,064	3,759
賞与引当金	-	5,716
その他	24,533	6,331
流動負債合計	154,439	65,518
負債合計	154,439	65,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	202,252	251,946
資本剰余金		
資本準備金	197,952	247,646
資本剰余金合計	197,952	247,646
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	197,747	202,901
利益剰余金合計	197,747	202,901
株主資本合計	597,951	702,495
純資産合計	597,951	702,495
負債純資産合計	752,390	768,014

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
売上高	136,436
売上原価	85,596
売上総利益	50,839
販売費及び一般管理費	43,409
営業利益	7,429
経常利益	7,429
税引前四半期純利益	7,429
法人税等	2,274
四半期純利益	5,154

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自2023年11月1日至2024年1月31日)

当社は、2023年11月17日を払込期日とする有償第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株発行57,300株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ35,319千円増加しております。また、新株予約権の行使に伴う新株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ14,375千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において資本金が251,946千円、資本準備金が247,646千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。